

ルート探索について

高速道優先と一般道優先

高速道優先: 高速道路を優先して通るルートを探します。

一般道優先: 一般道路を優先して通るルートを探します。

優先道路は、前回のルート探索時と同じ条件で探索します。

ただし、目的地までの直線距離が100 km以上のときは、前回のルート探索時の条件に関わらず、高速道優先で探索します。



例: 高速道路優先でルートを探しています。

- 優先する道路を切り換えるには、**一般道優先(高速道優先)で再探索**を選んでください。(経由地を設定している場合は、経由地までの優先道路が切り換わります。)
- すべての区間の優先する道路を切り換えるには、**詳細ルート設定**(P.69ページ)を行ってください。

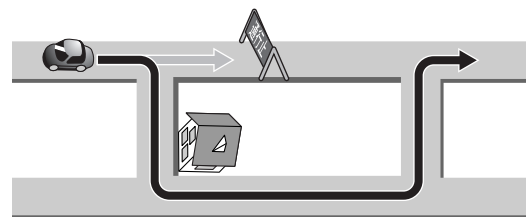
お知らせ

- 一般道優先で探索していても、有料道路を含むルートを探る場合があります。
- 高速道優先で探索するときの、高速道路を優先するレベルを設定できます。(P.180ページ)

VICS経路探索する

FM VICSの規制情報(通行止など)をもとに、規制の場所を避けたルートを探します。(FM VICSの渋滞情報は考慮されません。)

※別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)を接続すると、ビーコンの渋滞情報や規制情報をもとに、渋滞/規制の場所を避けたルートを探します。

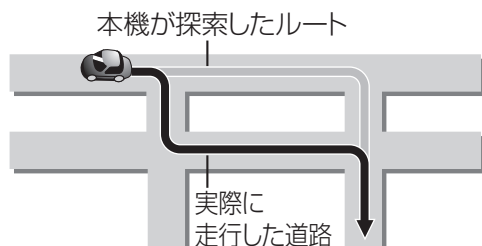


お知らせ

- VICS経路探索する/しないの設定ができます。(P.184ページ)

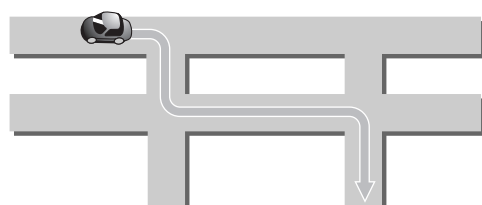
インテリジェントルート探索する

- インテリジェントルートとは**
ルート案内中に探索したルートをはずれて、別の道路(自分が運転しやすい道路など)を走行した場合、数回同じコースを通ると、そのコースが自動的に登録されます。(最大5コースまで)



- 道路によっては、インテリジェントルートとして登録されにくい場合があります。
- 同じコースを数回走行してもインテリジェントルートとして登録されない場合があります。
 - 道路が上下に重なっている場合
 - 細街路を含むコースの場合
 - 複数の道路がすぐそばに平行して通っている場合
 - 立体交差点を通る場合
 - らせん状になっている場合
- すでに5コース登録されている場合、それ以上登録することはできません。いずれかのルートを消去してください。(P.77ページ)

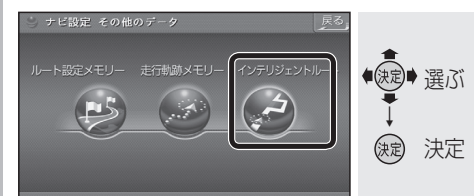
インテリジェントルートが登録されると、次回その道路付近を通るルートがあった場合、その道路を優先的に通るルートを探します。(インテリジェントルート探索)



- インテリジェントルート探索する/しないの設定ができます。(P.180ページ)

インテリジェントルートを確認する

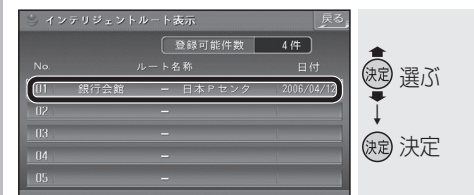
- ナビ設定画面から、**その他のデータ** → **インテリジェントルート** を選ぶ



- 確認する** を選ぶ



- 表示するルートを選ぶ**



- 地図が表示されます。



- インテリジェントルートの名称は、始点と終点の名称が自動的に登録されます。内容や名称は、変更できません。

インテリジェントルートを消去する

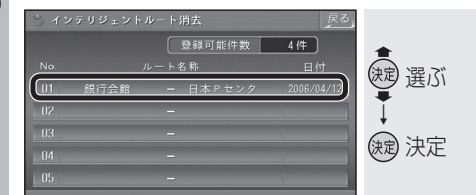
- ナビ設定画面から、**その他のデータ** → **インテリジェントルート** を選ぶ



- 消去する** を選ぶ



- 消去するルートを選ぶ**



- 確認** を選ぶ



- 選んだルートが消去されます。